奉仕しよう みんなの人生を豊かにするために

第2460号

高知東ロータリークラブ 週報

10月20日.2021

本日　10月20日㈬12:30 ザ クラウンパレス新阪急高知
ゲストスピーチ
「なんか変わるで桂浜水族館！ ～ハマスイ珍道中～」
公益社団法人 桂浜水族館 企画広報 森　香央理 氏

次週　10月27日㈬12:30 ザ クラウンパレス新阪急高知
会員スピーチ
「私の履歴書」
増田　伝郎 会員

第2506回　例会報告／令和３年10月６日　天候　晴

◇ロータリーソング
「君が代」
「四つのテスト」

◇会　長　挨　拶

皆さま、こんにちは。西山さん、お久しぶりです。

今月は、経済と地域社会の発展月間です。ご覧になった方もいらっしゃると思いますが、10月のマンスリーレターに、７月の熱海豪雨災害支援の報告が出ています。2670地区の各クラブの義援金220万円余りと地区の緊急災害援助準備金100万円、総額323万7,266円が第2620地区熱海豪雨災害支援本部に送られました。「ロータリーの友」10月号に2620地区からのお礼と、支援金が被災者の生活再建に充てられることが報告されています。

その中で、台湾米山学友会から、温かな気持ちのこもった手紙や写真とともに、約150万円の支援金が寄せられたことを知り、私達の米山奨学会寄付がりっぱに実を結んでいくことを実感しました。今月も理事会に別の災害支援依頼が提案されますが、大きな金額の寄付にならない間はニコニコの財源で賄うつもりです。コロナでなかなかロータリアンとしての行動ができていませんが、寄付はできますので、引き続きニコニコや財団、米山奨学会寄付をよろしくお願いいたします。

本日は、早瀬会員がじっくりお話したいということなので、お食事時間が少し短くなりますが、お食事しながらごゆっくりお聞きください。

◇来訪ロータリアン及びお客さま
米山記念奨学生　レ・ティ・フィエンさん

◇レ・ティ・フィエンさんに米山記念奨学会から記念品の贈呈。

お久しぶりです。私は10月、ベトナムに帰ります。２年間、本当にありがとうございました。

◇10月の会員祝日（敬称略）

- 会員誕生日
  浦田　健治
  土居　祐三
  岡﨑　勇樹
  野町　和也
  松本　隆之
  鬼頭　愼一　　石川　　健
- 配偶者誕生日
  松井　智子　　寺尾　幸子　　岡本多美子
- 家庭記念日
  沖　　卓史　　森田　倫光　　中西　克行
  土居　祐三　　前田　　博　　関　　淑公
  西村　美香　　田中　伸樹　　五百蔵誠一
- 入会記念日
  鬼田　知明　　西内　俊介　　市川　哲司
  西山　忠利　　山崎　敏朗

◇会　長　報　告

• ８ＲＣ会長幹事会にて、ローターアクトクラブがほぼ２年間活動ができていないため、各クラブからの会費を今年度分は返金することとなりました。

◇幹　事　報　告

• 10月のロータリーレートが１ドル112円です。
• 本日例会終了後、定例理事会を行います。

◇会員スピーチ　　早瀬　源慶 会員

「ビルマ戦没者50回忌の記憶」

（終戦の日の朝日新聞の天声人語の記事を紹介）

今から26年前、戦後50年たってビルマ（現・ミャンマー）での戦没者を何とか慰霊したい、生のお経を読んでいただきたいという、生きて帰ってきた戦友たちの希望があって、私と朝倉の高蓮寺のご住職の小島さんと一緒に参加して、お勤めをしてきました。

私はずっと日記を書いていますので、その当時の要点部分だけを読ませていただきます。

• 1993（平成５）年　12月20日
慰霊祭の前年

来年のミャンマー慰霊の旅の名簿が届いた。最高齢者84歳、最低齢者55歳。高齢者の旅行団体ということである。参加15名のうち10名は戦友だから80歳近い人たち。あと３名は遺族で70歳以上の人たちが参加する。うちの檀家さんの法事に団長の町田速雄先生が来ていた。先生は数年前から毎年この旅に参加しているというので、いろいろお尋ねした。

ラングーン以外の町の人々は素朴で、全く今までに行った国では会えない人々の集団である。

団長は、上町病院の院長、町田先生。ビルマ会の会長。五台山吸江寺にパゴダを建てた中心人物である。副団長は深田病院の院長、深田先生。共に軍医として参戦したこの２人が最高齢、84歳。団員の戦友たちは80代３名。あとは戦争当時20歳ぐらいで参戦した人も今日では70を過ぎることになる。

• 1994（平成６）年　１月23日(日)

いよいよ今日からビルマ慰霊の旅が始まった。バンコクに着いて時差２時間を引いた。

• 1994（平成６）年　１月24日(月)

午前８時、荷物をまとめバスに積み込んでバンコク市内を見学。（中略）

昼食のときに飲茶をいただいて、団長から「明日から美味い物は希望できないので、チキンダック（北京ダックのこと）を食べて元気でいこう」というあいさつあり。その後、空港に向かってヤンゴンに向かう。夕食は機内食。ヤンゴン空港でびっくりしたのは、使われていた路線バス（日本のバス）が迎えに来ていたが、何と車道は右側通行で、バスの乗降口は左側にある。だから、大変危険だ。

ミャンマーの第一印象は、初めて行ったスリランカと同じで皆が腰巻きをしている。スリランカではサルーンというけれど、ここでは何と言うのか分からない。

明朝は午前４時起床、４時30分スーツケースを出し、５時15分出発だからたまらない。もう寝ましょう。

• 1994（平成６）年　１月25日(火)

午前４時過ぎに起床、パガンへ。空港ではバガンと表記している。７時離陸、８時パガン着。ティリピトリヤホテルへ荷物を置いてアーナンダ寺院へ行く。途中、遺跡の仏塔群が千数百、王朝時代には５千を数えたという。祭りの前日とあって周辺は馬車や水牛車、ト

ラクターに人を満載して混雑の極み。旧暦の12月の満月の前日だから祭りがあるということ。青年たちが笑顔で私達に手を振ってくれる。

夕方、小島さんと２人で日没を拝みにパゴダに上がった。何と素晴らしい夕日だろう。（このパゴダ群は、今世界遺産に登録されています）

少しずつ戦友たちが悩みをぶつけに、私達のところに来る。

パガンで２泊。各地方の河原や畑で慰霊祭を、各地で塔婆を建てて行う。（卒塔婆を50本持って行ったのですが、最後は足らなかったです）

（その後ホテルに帰って、昼間あったことを高蓮寺の彼と話したのを記録しています）

あの時の深田先生の話を夜、宿舎で語り合った。何たることだろう、あの岩陰に負傷した若い兵士を残し、山砲弾の一発で粉々にしてこの世から葬り去るなんてひどい。その日の昼間に先生は50年前のことを回想して、その現場で泣きながら話した。「この岩のここに、部下の負傷した若い兵士を横たえ『少し待てよ』と言って、その場を離れた。そのときに山砲弾が直撃。あいつは粉々になって散ってしもうた」

ここだ、ここだと言って、先生は一生心の傷として思い続けているようだ。その場所で塔婆を建て高蓮寺と３人で読経した。

（そういう記録があります）

• 1994（平成６）年　１月27日㈭

今日で旅は半分、今回参加している戦友たちはそれぞれ強烈に死と対峙したことを昼食のとき、また夕食のときに語り始める。昨夜からマンダレー城の南、マンダレーホテル泊。ボロボロの部屋で、このホテルは不思議、湯が出た。マンダレーでサガインヒルの慰霊碑で、地元の上座部の高僧たちと慰霊祭。この碑のほか、部隊の碑が各所にある。でも、全て境に鉄条網を張っている。なぜと疑問に思う。

その日、メイミョーに向かう。護衛の兵士が３名バスに乗り込んできた。兵士の体臭がきつい。北部のゲリラ対策のガードだということ。

• 1994（平成６）年　１月28日㈮

メイミョーのホテルは外観、英国の良き時代の建物をそのままホテルに使用。避暑地として夜寒かった。蛍光灯は30分ぐらいして灯るので、電球の電気スタンドを使う。インパール作戦の作戦本部をこのホテルに置いていたという話だ。メイミョーの陸軍病院跡で慰霊祭を行う。戦病死者の墓前だ。病院跡はキリスト教、カソリックの中学校になっている。

メイミョーから峠を越えてメイクテーラに行く。中間地帯で砲兵隊の全滅したという木の下で祭壇をつくり慰霊祭。周囲の干上がった田んぼ、その木の下で祭壇をつくって慰霊祭。干上がった田んぼに点々と戦時中タコツボをつくり、昼間そこに兵士たちが潜んで座るとおへその辺りまで水が来て、ヒルが一杯いたという。そのタコツボを英軍の戦車部隊が蹂躙して、多くの兵士たちが生き埋めになって死んでしまった。その祭詞を泣きながら読む、戦友たちオイオイと泣く。

• 1994（平成６）年　１月30日㈰

同行の老人たちはタフに行動する。１日に0.5発、２日に１発しか敵に向かって銃を発砲できない。こんな戦争なんて考えられないが、それが彼らの現実の戦争、敗走する姿だった。

今日は、トングーを６時に出発。バゴーへ昼ごろ着く。午前中、深田先生の戦友たちの戦死者を多く出したカニクイン村の近くクン川の土手の草むらに簡単な祭壇を設け慰霊祭を行う。深田先生は泣きながら祭詞を読む。その後、イラワジ川の支流、増水した鏡川ほどの滔々と流れるクン川に塔婆を流して、深田先生は持参した小石を川に「おーい、鏡川の石を持って来たぞ」と泣きながら投げる。一同男泣き。この川を敗走して、夜間泳いで渡る。どれほどの兵士が溺れ死んだか分からないという。

次いで、バゴーからペンネゴンへ。村道からトンス街道（つまり国道と村道の交わる所）の草原にある大木のもとへ卒塔婆を建てて慰霊祭をする。そこで東洋町の坂本さん、戦友の戦死現場で、彼は涙ながらに80歳を超え、今回の慰霊祭に参加できるのは最後だということなどを、泣きながら祭詞を読む。国

道沿いにたちまち人垣ができた。
　昨夜泊まった民泊は、トイレに囲いがない。風呂はバケツ１杯で汗を流すが、実に爽快で親切だった。

• 1994（平成６）年　１月31日(月)
　ラングーンのヤンゴンのシュエダゴン・パゴダ近くの食堂の２階で旅の解散式のスピーチを会長が行った。地元のビールで乾杯。戦友たちはむちゃくちゃ陽気だった。

　こういうことが、この慰霊祭の旅でございました。26年前ですので、もうほとんどの方が亡くなっておられると思うんです。高知新聞では今年の８月13日、ビルマ戦線に参戦して2019年に99歳で亡くなられた久保代八郎さんという方の手記が掲載されました。この方はインパール作戦に参加した方だと思いますがアラカン山脈は白骨街道と言われるぐらい戦死者が多く出たようです。昼間は狙撃されるので夜、行動するわけですが、トラが出てくるんです。だから、空き缶を小さな音で叩きながら敗走したということです。お読みになる方はコピーしますので、ご連絡ください。

ニコニコ箱

・**中平真理子**　土居米山委員長、楽しい委員会ありがとうございました。フィエンさん、帰国後も時々高知を思い出しながらご活躍ください。

・**西内俊介**　2013年10月２日に入会させていただいて８年になります。毎日幹事の仕事と本当の仕事で忙しく過ごしています。同じ日に入会しました鬼田さんに、バトンタッチする日が楽しみです。

・**高橋典子**　2022年４月1日に親会社の三愛石油が商号変更して三愛オブリ株式会社になるのに伴い、当社も2022年４月１日に三愛オブリカスタマーサービス株式会社に商号変更いたします。オブリとは、イタリア語の感謝の気持ちという言葉などから取った造語で、これから一層幅広くエネルギーサービスに従事していく決意を込めての社名変更となりました。社名は変わりますが、今後ともよろしくお願いいたします。

・**竹村克彦**　今日のデザートにあった文旦は今シーズン初めてでした。

・**早瀬源慶**　スピーチご清聴お礼。10月１日瓶ヶ森氷見二千石原まで、若い人たちにサポートされ行ってきました。多分、最後の登山か。

・**西森やよい**　11月20、21日の土日に中央公園で「ＲＫＣ子育てすこやか」というイベントが行われます。おむつバンクも出店されるとのことですので、お時間のある方はお運びください。

・**土居祐三**　誕生日と結婚記念日のお礼です。55のゾロ目になりました。何かいいことあるかなぁ。結婚して29年、いつの間にか人生の半分以上…。

・**石川　健**　誕生日を祝っていただきありがとうございます。71歳になりました。これからもよろしくお願いします。

・**松本隆之**　あと２日で51歳になります。めでたくもあり、めでたくもなし。

・**増田伝郎**　前回までは配偶者誕生日のお祝いをいただいていたのですが、今回からなくなりましたので、少しだけ。

・**岡本裕史**　かみさんの誕生日、事前連絡ありがとうございました。

・**松井洋介**　妻の誕生日祝を頂きありがとうございました。日頃、離れて暮らしているとつい忘れそうになることもあるので、忘れて怒りを買わないように朝イチで私から妻にお祝いのLINEを送っておきました。これからも仲良くしたいと思います。

・**田中伸樹**　結婚記念日のお祝いありがとうございます。持って帰ってゆっくり話したいと思います。

・**五百蔵誠一**　家庭記念日のお祝いありがとうございます。会食が解禁され、外食が増えてきたので、家内の笑顔も増えてきました。

・**森田倫光**　結婚10年目になります。完全に忘れてましたので、至急店を予約します。本当に助かりました。ありがとうございます。

・**関　淑公**　結婚記念お礼。多分55年と思う。ありがとうございます。

・**西村美香**　結婚記念のお祝いありがとうございます。結婚10周年、最初の節目を仲良く迎えられることに感謝です。

・**沖　卓史**　家庭記念日祝いありがとうございました。娘の年を考えると42回目になると思います。すっかり忘れていました。

・**中西克行**　家庭記念日のお祝いありがとうございます。結婚20周年です（10月15日）続いて良かったです。

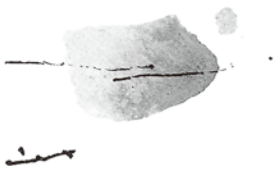
・**前田　博**　家庭記念ありがとうございます。

・**鬼田知明**　入会記念品のお礼。早くもまる８年がたちました。楽しいロータリーライフが送れるよう努めてまいります。今後もよろしくお願いいたします。

・**市川哲司**　入会記念日祝いありがとうございました。はや１年たちます。これからもよろしくお願いします。

・**西山忠利**　久しぶりの例会出席です。入会記念日祝い品ありがとうございます。

・**ザ クラウンパレス新阪急高知**　いつもありがとうございます。



■高知東ＲＣ当面の日程

10月23日㈯　地区大会
（高知県民文化ホール）
10月27日㈬　役員会
11月３日㈬　休会（国民の祝日）
11月10日㈬　定例理事会
11月17日㈬　第４回クラブ協議会
（例会終了後）
11月24日㈬　役員会
12月１日㈬　五大奉仕中間発表・年次総会
定例理事会
12月15日㈬　役員会
12月22日㈬　忘年夜間例会
（ザ クラウンパレス）
12月29日㈬　休会（年末年始の休み）

■例会変更のお知らせ

高知南ＲＣ　10月21日㈭　ロータリー休日
高知西ＲＣ　10月22日㈮　ロータリー休日
高知ロイヤルＲＣ
10月26日㈫　ロータリー休日
高知中央ＲＣ　10月28日㈭　職場例会
高知北ＲＣ　11月１日㈪　ロータリー休日
高知中央ＲＣ　11月４日㈭　休会
高知ロイヤルＲＣ
11月16日㈫　11/26㈮4RC合同夜間例会に振替
高知中央ＲＣ　11月18日㈭　ロータリー休日
高知北ＲＣ　11月22日㈪　ロータリー休日
高知南ＲＣ　11月25日㈭　ロータリー休日
高知西ＲＣ　11月26日㈮　4RC合同夜間例会

● ニコニコ箱 ●

	ニコニコ	チビニコ	合　計
先週まで	267,200円	2,163円	269,363円
10月６日	69,150円	1,890円	71,040円
今期の累計	336,350円	4,053円	340,403円

● 出席率報告 ●

	総数	出席	欠席	メイクアップ	HC出席率	出席率
10月６日	$^{-2}$53	44	6	1	83.02%	88.24%
９月22日	$^{-4}$53	43	0	6	81.13%	100%

●会長／中平真理子　●幹事／西内俊介　●雑誌会報委員／佐野博三・水谷直人・西村美香
●例会日／毎週水曜日12:30PM～1:30PM　●例会場／ザ クラウンパレス新阪急高知　(088)873-1111
●事務所／高知新聞放送会館６階　〒780－8572 高知市本町3－2－15　直通 (088)824-8660
ホームページアドレス(PC・携帯共通)http://www.kochi-east-rc.com
メールアドレス　事務局／hcrc@coffee.ocn.ne.jp　広報ＩＴ委員会／info@kochi-east-rc.com